

京都商工会議所、(財)計算科学振興財団主催 講演会

シミュレーションによる研究・開発 ～次世代スーパーコンピュータの活用～

数値シミュレーション技術は、製品開発や研究開発の場で活用することにより、試作回数や実験回数の低減、コスト削減や期間短縮、あるいは新しいアイデアの創出などが期待されることから、産業界においても益々その利・活用の重要性が増しており、今後はさらに多くの企業で取り込まれていくものと思われます。

今回の講演会では、地球シミュレータセンターの渡邊センター長に地球シミュレータで行われている研究事例をご紹介いただくとともに、シミュレーションの活用事例をエンジニアス・ジャパン(株)の工藤氏にご講演いただきます。

日時 平成21年8月27日(木) 14:00～16:40
場所 京都商工会議所 役員室(3階)
京都市中京区烏丸通夷川上ル
主催 京都商工会議所、(財)計算科学振興財団
定員 50名(申込順、定員になり次第締め切らせていただきます。)

～プログラム～

14:10～15:20 講演Ⅰ 「シミュレーションで未来を設計する」 わたなべ くにひこ 渡邊 國彦 氏
(独)海洋研究開発機構 地球シミュレータセンター長

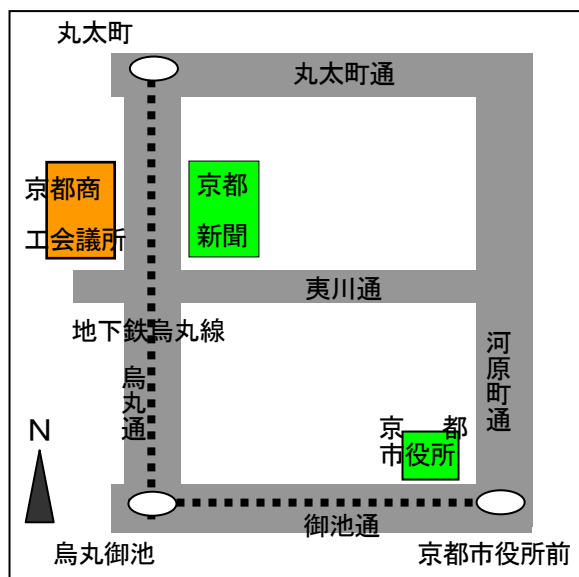
15:20～15:30 休憩

15:30～16:40 講演Ⅱ 「スパコンによるシミュレーションの世界」 くどう けいじ 工藤 啓治 氏
エンジニアス・ジャパン(株) 技術推進室長

会場案内

京都商工会議所 TEL: 075-212-6

◆地下鉄「丸太町駅」6番出口スグ



【次世代スーパーコンピュータについて】

様々な分野の大規模科学技術計算を行うための超高速処理が可能なコンピュータを一般に「スーパーコンピュータ」と呼んでいます。スーパーコンピュータによるシミュレーションは、実験、理論と並ぶ研究開発の第3の手法として益々重要になっており、自動車や飛行機的设计・製作のための構造解析や流体解析、天気予報のための気象シミュレーションなど様々な分野で使われています。

次世代スーパーコンピュータは、1秒間に1京（ケイ=1兆の1万倍）回の計算性能があり、これまで不可能であった複雑かつ大規模なシミュレーションが実現可能となります。応用例としては、①新しい半導体材料の開発、②薬の開発、③自動車の衝突解析、④原子力施設の耐震解析、⑤台風の進路や集中豪雨の予測等があります。現在、神戸ポートアイランドにおいて施設の建設が始まっています。

お申込み方法

平成21年8月26日（水）までに、下記の申込書でお申し込み下さい。

お申込先

財団法人計算科学振興財団 業務課

住所：〒650-8567 兵庫県神戸市中央区下山手通5-10-1 兵庫県庁1号館6階

電話：078-366-6181

申 込 書

必要事項を記入の上、この用紙をFAX（078-360-0115）送信してください。

会社名	所属・役職名	(フリガナ) 氏 名	連絡先
		()	電話： E-mail：
		()	電話： E-mail：
		()	電話： E-mail：

【個人情報の取り扱いについて】

本申込書にてご提供いただきました個人情報は、本セミナーの受付・運営に関する業務のほか、(財)計算科学振興財団が実施する各種事業に関する情報提供等に利用させていただきます。

なお、本人様の同意がある場合または法令に基づく正当な理由がある場合を除き、上記目的以外での利用及び第三者への開示・提示はいたしません。